

2 年	通 年	数学Ⅱ	履修形態	全員履修
			履修単位	2 単位
科目目標			教科書	数Ⅱ331 改訂版 新高校の数学Ⅱ(数研出版)
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考え資質・能力を身につける。			副教材等	ポイントノート数学Ⅱ (数研出版)
			履修条件	なし
学習内容				
2 年次では、「複素数と方程式」・「図形と方程式」・「三角関数」・「指数関数・対数関数」を扱う。				
評価方法		定期考査、課題考査、提出物、授業態度		
学習上の留意点		1クラスを習熟度別に2つのグループに分けて行う。また、定期考査ごとに、その成績をもとにクラス替えを行う。		

授業計画（学習内容・学習活動・ねらい及び評価のポイント）					
期	月	学習内容（単元名）	学習のねらい・目標		
前期	4	第1章 複素数と方程式 第1節 式の計算	・3次式の展開と因数分解の公式を利用できる。 ・分数式の計算（約分、倍分、通分、加減乗除）は数の計算と同じアルゴリズムであることを理解する。 ・複素数の加減乗除の計算に習熟する。 ・2次方程式が判別式が負のときも、解の公式を利用して解ける。 ・3次方程式を解く方法に習熟する。 ・論理を使って推論ができることを知る。 ・数学的な性質が推論によって証明できることを理解する。 ・内分と外分を理解して図示できること。 ・直線の陰関数表示を理解する。 ・二直線が平行や直行する条件を理解する。 ・連立方程式を解くことで図形の交点の座標を求めることができることを理解する。 ・円の陰関数表示を理解する。		
	5	第2節 複素数と方程式			
	6	第3節 式と証明			
	7	第2章 図形と方程式 第1節 点と直線			
	9	第2節 円			
後期	10	第3章 三角関数	・角の概念を一般角にまで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解する。 ・三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。 ・三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解する。 ・指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をする。 ・指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。 ・対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をする。 ・対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。		
	11				
	12	第4章 指数関数・対数関数 第1節 指数関数			
	1				
	2	第2節 対数関数			
	3				
学習評価の観点別規準と評価方法					
評価の観点	関心・意欲・態度		思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価基準	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。		論理的に考察する力、簡潔・明瞭・的確に表現する力、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力が身に付いている。	事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理する技能が身に付いている。	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。
評価方法	授業態度 考查の結果 提出物の内容		授業態度 考查の結果 提出物の内容	授業態度 考查の結果 提出物の内容	授業態度 考查の結果 提出物の内容
学習サポート					
テスト対策プリントで何度も復習すること。 テスト直前に対策補習を実施する。					